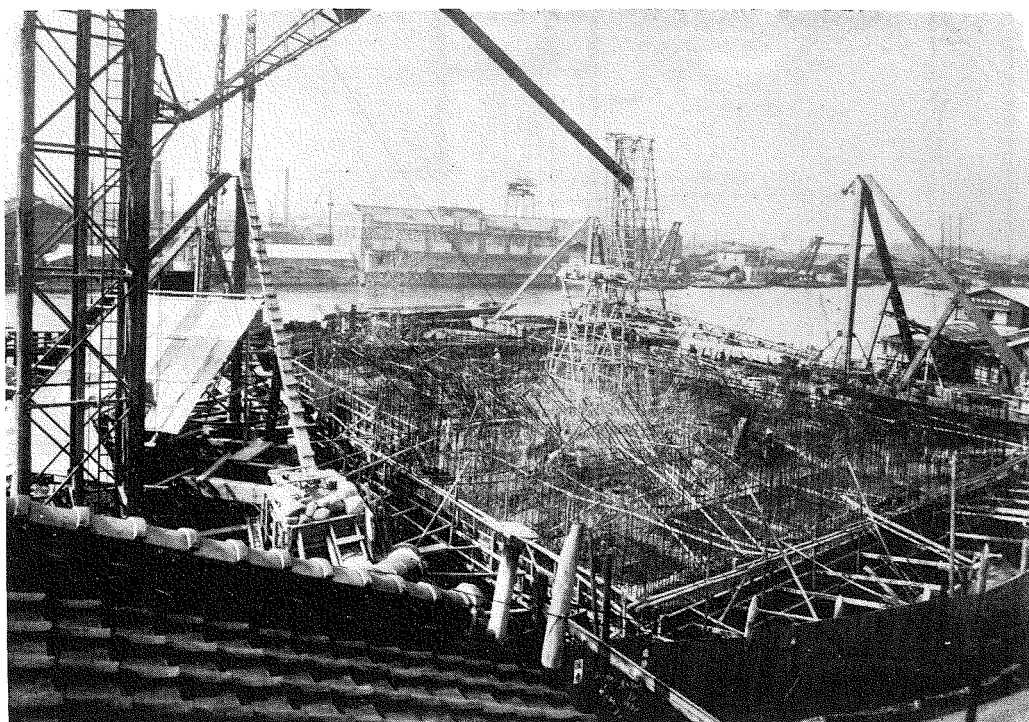


安治川河底隧道工事

本隧道は大阪市第二次都市計畫事業の一として、安治川市岡線の内安治川舊源兵衛渡船場に築造されるものである。附近一帯は大阪市重工業地域にして、本隧道の一般交通に及ぼす影響も亦重大である。



工 事 概 要

工事は兩岸堅坑及び河底隧道部分の二つに分れてゐる。兩岸の堅坑は内法 20.4×10.0 米の矩形を爲し、その中に車輛用昇降機(大きさ 9.50 米 \times 3.0 米)各2臺及び歩行者用昇降機(大きさ 1.80 米 \times 2.30 米)各々1臺を設備し、諸車並に歩行者の交通に供するものである。

河底隧道部分は沈埋式工法により、中央 50 米の部分を築造し、その他の部分は堅坑と同時に潜函工法によりて築造するものである。隧道部分の断面は上流側に有効幅員 4.50 米の車道2條、下流側に幅員 2.40 米の往復歩道1條を有し、全幅員 14.0 米、高さ 17.0 米にして隧道の總延長約 100.0 米、水深O.P.下 6.0 米である。目下の工程は、潜函作業室の構築中にして、工期は昭和9年9月より昭和13年3月までである。

設計は大阪市役所の堀技師、江戸技師、現場監督は吉川技師で清水組の請負施工である。

河底隧道設計圖

